

【 第4回 U-22東アジア選手権 】

2016年7月3日～7月10日 中国・蘇州

試 合 結 果 報 告 7 月 9 日 (土)

J P N	V S	TPE (台北)
16	前半	7
16	後半	13
32	合計	20

個人得点

名前	前半	後半	第1延長	第2延長	合計
榎 和 奏					0
金 山 桃 歌					0
林 玲 花	0	0			0
浜 真 尋	1	1			2
吉岡 紗耶	4	5			9
行本 朱里	1	3			4
並木 梨紗	0	2			2
中村 風夏	2	1			3
中山 佳穂	5	2			7
金城 ありさ	2	0			2
八田 桃子	1	2			3
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
合計	16	16	0	0	32

戦評

今大会最終戦、台北と対戦。日本はディフェンスからのスタート。立ち上がり日本は、№14中山のサイドシュートで先制点をあげる。その後10分まで一進一退の攻防が続く。ようやく11分過ぎに№5吉岡、№14中山の速攻などで6連取し、10 - 3とする。台北もスピードあるカットインなどで点数を重ね追いつけてくる。終盤に入り、シュートミスが続きリズムに乗れない日本だったが、GK№1榎の好セーブから速攻で5連取し、一気に突き放し、前半16 - 7で折り返す。後半開始から日本はディフェンスの連係ミス、攻撃でのミスが続き、相手に3連取されてしまう。日本の流れに持ち込みたいところだが、日本に退場者が出たり、ノーマークシュートを連続で外すなどミスが目立つ。後半19分過ぎに№5吉岡の速攻が2本連続で決まる。さらに、№17八田の速攻、№13中村のカットインなどで5連取、最後は№6行本のポストシュートが決まり、最終スコア32 - 20で勝利し、3位で大会を終えた。この大会での経験を活かし世界ユース選手権大会に繋げていきたい。

報告記入者：

辻 賀奈子